



Ikedo Momoko

池戸 桃子 事務官

天竜川上流河川事務所
用地課



法務局での打合せ



現場に出て物件調査

■用地業務の魅力・やりがい

用地業務とはその名のとおりに、公共事業で用いる土地を取得することが主な業務です。しかし一口に土地の取得と言っても、相続や登記、税務など様々な分野の知識が必要となります。

学ぶことはたくさんありますが、その分「分かること」「できること」が増えていく度にどんどん仕事楽しくなってきました。

また、実際に現場に出て地権者の方と交渉を行う所も用地業務の特徴です。自分たちの仕事が地域の人々の目にはどう映っているのか。地権者の方と話す時はそんな人々の思いが直に感じられます。事業への反対意見ももちろんありますが、話し合いを重ねる中で、地域の安全や豊かな生活のためにという自分たちの思いを理解してもらえたとき、とても大きなやりがいを感じられます。そのやりがいは用地業務の大きな魅力です。

■仕事とプライベートの両立について

職場の雰囲気がとても良く、何でも相談できる環境です。そのため、慣れない土地での生活も職場の方々がたくさん助けてもらい、楽しく過ごしています。美味しいお店を教えてもらってご当地グルメを堪能したり、有名なイベントや観光地へ若手職員で遊びに行ったりと、新しい土地での生活を満喫しています。

学生の頃は、社会人は気軽に休みが取れないものだと思っていました。しかし実際には休暇の取得も積極的にできる環境のため、たくさん休んでたくさん遊び、リフレッシュしてまた仕事を頑張る！というサイクルで働いています。

経歴

H30.4 天竜川上流河川事務所 用地課 採用





Suzuki Miyu

鈴木 美有 事務官

河川部
水政課



水利権協議のために本省にて打ち合わせ



河川内の工作物の状況を現地にて調査

■河川業務の魅力・やりがい

水政課では、河川に関する法令の解釈や許認可事務を行っています。中でも、私は主に水利権の許認可事務を担当しています。水利権とは、農業用水、上水道、工業用水、発電等の特定目的のために公共資産である河川水を利用する権利で、国民の生活や産業を支える重要なものです。河川水は限られた資源であり、その許可については慎重な審査が必要となります。その分大きな責任を伴いますが、上司に相談しながら自ら許可方針を立案し、上部機関の本省や事務所を含めた関係部署と調整し許可が完了した時には大きな達成感もあり、やりがいのある業務です。

通常はデスクワークが中心ですが、ダムや取水施設などの現場を見に行く機会もあります。現地調査はより業務への理解を深められる貴重な機会であり、新たな発見もあるので、いつでも新鮮に感じます。

■仕事とプライベートの両立

仕事終わりには、友人や職場の同僚と飲みに行くこともあります。また、休日は旅行したり、買い物に出かけたりすることで気分をリフレッシュしています。昨年の夏は、夏期休暇制度を利用して九州へ旅行に行きました。仕事から離れしっかりと休むことで、仕事とプライベートのオンとオフのメリハリがつくので、気持ちを切り替えて仕事に打ち込めています。

また、働く女性をサポートする支援制度があり、育児をしながら仕事を続けている方もたくさんいらっしゃるの、安心して仕事を続けていける職場環境だと感じています。

経歴

H29.4 三重河川国道事務所 用地第一課 採用

H31.4 河川部 水政課



現在育児休業中



子育てに奮闘中!!

Matsunaga Chika

松永 千佳 事務官

三重河川国道事務所
用地第二課
用地第一係長

■育児に奮闘中!

私は、現在の部署に配属中、妊娠・出産という人生の一大イベントを迎えました。第一子であったため、自分の体調から出産に係る手続き等にいたるまで、分からないことだらけでしたが、職場の方々（女性・男性を問わず）の温かい心遣い・アドバイスのおかげで、穏やかな気持ちで出産を迎えることができました。現在は仕事は少しお休みをいただいて、育児に奮闘の毎日です。男性が多い職場ですが、育休の取得なども気軽に相談でき、女性が働きにくい職場と感じたことはありません。とても温かく、活気がある職場でこれからも仕事を続けていきたいと思っています。

■業務の魅力・やりがい

用地業務は、事業の始まりの部分に携わる仕事なので責任重大ですし、プレッシャーも大きいですが、その分、用地取得できた時は達成感があります。取得した用地で工事が始まり、それが完成した時にはとても充実した気持ちになります。

とは言え、私も今の部署に配属が決定した当初は、不慣れな業務である上に新しい役職であったため、とても不安に思っていました。しかし実際に業務を進めるにあたっては、上司や同僚の温かいサポートもあり、皆で知恵を出し合い、助け合って業務を進められるので、毎日安心して前向きに業務に取り組むことができました。

また、用地業務では幅広い知識が必要です。例えば、補償する対象によっては、その分野のマニアックな知識が必要になることがあります。様々な分野について勉強することは、貴重な経験ですし、新しい知識に出会うと楽しく感じます。

用地業務に限らず、中部地方整備局の仕事は、地域に密着した内容が多く、現場の空気を感じられるところが私には面白いです。

経歴

H22.10	沼津河川国道事務所 用地第一課 採用
H24.4	河川部 水政課
H25.10	静岡国道事務所 富士国道維持出張所 事務係長
H28.4	木曾川上流河川事務所 揖斐川第二出張所 管理第一係長
H29.12	結婚
H30.4	三重河川国道事務所 用地第二課 用地第一係長
R1.6	出産後、育児休業開始





Nakagawa Kasumi

中川 佳澄 事務官

岐阜国道事務所
管理第一課
占用係長



工事完成検査立ち会い



所内で業者と打合せ

■道路業務の魅力・やりがい

道路は私たちが生活する上でとても身近な存在です。安全に道路を利用するため、渋滞をできる限り少なくするため、また車だけではなく、歩行者の安全を第一に考えて少しでも良くするため、毎日たくさんの人たちが知恵を出し合っています。

現在、占用係長として、国道の敷地に電線や上下水管等を設置するための許可手続きや、国道への県道・市道の取付（交差点設置）協議に携わっています。自治体の方とお話する機会も多く、直接お礼の言葉を聞くことができたり、自分が許可した工事が進んでいく状況を見るととてもうれしくやりがいを感じます。

■仕事とプライベートの両立

入省して7年目、1人目を出産し、育児休業中に2人目を授かり、約5年間のお休みをいただきました。育児休業から復帰したての頃は保育園への送迎のため、育児時間の取得により2時間早く帰らせてもらっていました。そのため他の人たちから嫌な目で見られないかなど心配な部分もありましたが、職場の上司や周りの方たちが私を気にかけて、「子どもが待ってるぞー」と声をかけてくださり、帰りやすい環境にありました。また時間が短いことで、今までより集中して効率よく仕事を行うことができるようになったと思います。2人とも小学生になった現在も通勤時間や勤務地に配慮いただき、子どもを送り出してから出勤させてもらっています。

仕事も育児もめまぐるしい毎日ですが、充実した毎日を送っています。

経歴

H16.4	総務部 総務課 採用	
H18.4	静岡河川事務所 調査課, 占用調整課	
H19.5		結婚
H20.4	沼津河川国道事務所 河川管理課	
H22.4	総務部 厚生課	
H23.2		出産後、育児休業開始
H24.9		育児休業終了
H25.3		出産後、育児休業開始
H27.4		育児休業終了
H27.4	企画部 企画課	
H28.10	木曾川上流河川事務所 木曾川第一出張所 管理第一係長	
H31.4	岐阜国道事務所 管理第一課 占用係長	





Niimi Wakaba

新實 若葉 事務官

中部道路メンテナンスセンター
総務課長

■女性のキャリアアップについて

管理職昇任のお話を頂いたとき、果たして自分に務まるだろうかと不安でいっぱいでした。子育ては一段落し、幸い今のところ介護もなく、環境は整っている。ではなぜ不安なんだろうと考えたら、それは女性だからというより、単に自分の知識や能力に自信がないからでした。そんなとき周りの方が、「最初是不慣れでも、だんだん役職にふさわしくなっていくよ」と背中を押してくださったので、きっと何とかなる。これは成長できるチャンスなんだ、と前向きに考えることができました。今は、チャレンジしてよかったと思っています。

■仕事とプライベートの両立

子どもたちが小さい頃は、定時に帰らなければと毎日時間に追われていましたが、幸い主人も同じ中部地方整備局の職員なので、お互いフォローしあいながら、家事も育児も協力して進めてきました。子どもたちが成長した今は、わたしの帰りが遅くなくても、誰かが夕飯の支度を始めてくれて、洗濯物も畳んでくれています。家族全員で協力できているので、とても助かっています。

両立する上で大切なのは、何もかもひとりでやろうと頑張りすぎないことです。周りの手を借りることも、時にはリフレッシュも必要です。自分も家族も健康であってこそ、仕事も頑張れると思います。



所内で部下と打合せ

経歴

S61.4	総務部 人事課 採用	
H4.4	総務部 会計課	
H5.9		結婚
H8.3		出産後、育児休業開始
H9.1		育児休業終了
H9.4	道路部 路政課	
H10.8		出産後、育児休業開始
H11.4		育児休業終了
H13.4	営繕部 建築課 基準係主任	
H15.4	道路部 道路工事課 施設係主任	
H17.4	愛知国道事務所 名古屋東部出張所 事務係長	
H20.4	名古屋国道事務所 名古屋国道維持第四出張所 事務係長	
H22.4	木曾川上流河川事務所 総務課 専門調査員	
H23.7	多治見砂防国道事務所 経理課 経理係長	
H25.4	名古屋国道事務所 総務課 職員係長	
H26.4	木曾川下流河川事務所 経理課 専門職	
H28.4	愛知国道事務所 総務課 専門官	
H30.4	多治見砂防国道事務所 経理課長	
H31.4	中部道路メンテナンスセンター 総務課長	





Matsumoto Yuko

松本 祐子 事務官

紀勢国道事務所
副所長

■女性のキャリアアップについて

現在、三重県松阪市にあります紀勢国道事務所の副所長として働いています。

近年災害が多い中、地域の方が、より安全・安心に暮らせ、喜んでもらえることを念頭に日々仕事をしています。行政職で総務、経理など直接地域の方と接する機会がない業務に就いていても、この職場の理念、向かう方向を考え仕事をしていくことが大切だと感じています。また、何事にも前向きに業務を行っていくことが、自身の活躍の場を広げる事につながると思います。

一昨年、人事課に勤務した時は名古屋まで通勤できないこともあり、単身赴任を選択しました。その時点では、三人の子供もそれぞれ巣立ち、親の介護もない状態で、家族の理解と職場の方の支えを得て、無事に乗り切ることができました。上位の職へと行く段階では、いろいろな選択を求められることも多くなってきますが、育児や介護などがあっても生活と両立しながら活躍の場を選んでいける職場です。

■仕事とプライベートの両立

時代もありますが、40歳で係長となり、その後自宅から通勤できる範囲で事務所課長までなりました。今は、私の頃と比べると、係長になる時期も早くなり、仕事と出産、育児に悩む事も若くからになってきますが、制度も充実しています。どちらかを選ぶのではなくバランス良く両立しながら働くことができる職場です。



経歴

S54.3	関東地方建設局 総務部 契約課 採用	
S58.4	飯田国道工事事務所 庶務課, 経理課	
S58.12		結婚
S62.5		出産
S63.4	三重工事事務所 道路管理第一課, 総務課, 経理課	
H3.6		出産
H4.5	三重工事事務所 経理課 経理係主任, 契約係主任	
H8.5	三重工事事務所 道路管理第一課 占用係主任	
H12.4	紀勢国道工事事務所 飯高出張所 事務係長	
H14.4	三重工事事務所 道路管理第一課 道路管理係長	
H17.4	紀勢国道事務所 管理第一課 占用係長	
H20.4	紀勢国道事務所 経理課 契約係長	
H21.4	三重河川国道事務所 河川占用調整課 専門官	
H24.4	三重河川国道事務所 道路管理第一課 専門官	
H26.4	紀勢国道事務所 経理課長	
H28.4	三重河川国道事務所 総務課長	
H29.4	総務部 人事課長補佐	
H30.4	紀勢国道事務所 副所長	

